

7月9日、奥出雲町農泊推進協議会の主催で、カルチャープラザ仁多において「農村体験・農泊はじめてみよう」講座が開催され、農業体験・農泊に関心のある方約60名が参加されました。世界農業遺産等専門家会議委員（農林水産省）を務めている大和田順子先生を講師に招き、「農業観光で地域が潤う仕組みづくり」について、地域の個性が異なる地域と違う「か〜」と題し、講演がありました。ご自身がアドバイザーとして関わる宮崎県高千穂郷・椎葉山の取り組みを紹介され、参加者は熱心に耳を傾け、農村体験・農泊への理解を深めていました。

◆奥出雲町農泊推進協議会について

「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」が『日本農業遺産』に認定されました。先人たちの努力と知恵によって、私たちが誇りに思える地域として代々受け継がれてきました。一方で高齢化や後継者不足、耕作放棄地の問題など、深刻な問題にどう立ち向かっていくのか、みんなで知恵を絞っていく必要があります。先人たちの「知識、技術」をどう次世代に伝え、守っていくのかを農業者はもちろん、観光関係者、商工関係者が一緒になって考えていきたいと思います。奥出雲町の農業を含む地域資源を活用し、交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。

◆農村体験・農泊とは？

農泊とは、農山漁村において日本ならではの伝統的な生活体験や地元の人々との交流を楽しみ、農家民宿、古民家を活用した宿泊施設など、旅行者にその土地の魅力を味わってもらい農山漁村滞在型旅行を指します。農村体験とは、普段からやっている田植え、稲刈り、そば打ち、笹巻き作り、ホテル観察、餅つきなど、町内にある「日常」の素材を活用し、都会の方に「非日常」の体験を提供するものです。

◆農村体験・農泊を提供するメリットとは？

- ①農家所得の向上 ②地域の所得の向上 ③遊休資源の利活用
- ④観光客の増加 ⑤移住者の増加 ⑥インバウンドの増加



▲大和田先生による講演の様子

◆奥出雲町農泊推進協議会の今後の取り組みについて

まちにある素材を発掘し、旅行商品として対応できるものに作り上げて、宿泊・飲食・体験の実践者がお互いに協力できる体制を構築し、旅行者が商品を自由に組み合わせ、田舎暮らしを楽しんでもらえる仕組みをつくりま

農泊・農村体験に興味のある方は奥出雲町観光協会（54-2260）までお問い合わせ下さい。

奥出雲町農家民宿等支援事業費補助金の概要【新規事業】

1. 目的

本町の豊かな自然環境、農業資源等を活かし、交流人口の拡大と地域の活性化を図るため、町内の農業者が農家民宿等を開業する際に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付します。

2. 補助対象者

補助交付対象者は、町内に住所を有する農家民宿の新規開設者又は既開設者であって、次の各号のいずれにも該当する方です。

- (1)奥出雲町農泊推進協議会の事業に参加する方
- (2)旅館業法または住宅宿泊事業法に規定する営業許可を受け、本町において農家民宿等を運営する方

3. 補助対象経費・補助率

補助対象経費	補助率
農家民宿等を営業するために必要な施設又は設備の改修、備品の購入等に要する経費 (1)客室、便所及び洗面所、台所の改修費用 (2)消防用設備等の設置費用 (3)農家民宿の営業で必須となる備品 (4)その他町長が適当と認める費用	補助対象経費合計額（消費税を除く。）の2分の1以内（50万円を上限）
農家民宿等を営業するために必要な申請費用等に要する経費 (1)旅館業等営業許可の取得に必要な申請費用（登録費用、手数料、印紙代等） (2)行政書士等専門家の依頼に要する経費（申請手続代行、登録補助等）	補助対象経費合計額（消費税を除く。）の2分の1以内（5万円を上限）

4. お問い合わせ

農業振興課 有線31-5283 電話54-2513

ルール・ミーティングinしまね 語り部交流会
『いにしへの技を受け継ぐ里地里山のこれから』を開催

6月29日、カルチャープラザ仁多において、中山間地域の農業と農村の振興を考えるシンポジウム「語り部交流会inしまね」が開催され、約360名が参加しました。元NHKキャスターで語り部として活躍する平野啓子氏が、古代衣装に身を包み「たたら製鉄に由来する里山文化等について、情感あふれる語りで魅了しました。続いて、NPO法人出雲学研究所理事長藤岡大拙氏から「なぜ奥出雲がヤマタノオロチ退治の舞台となったか!」と題した講演があり、出雲神話や出雲人の気質などユーモアたっぷりに語られました。また、30日はルール・ミーティング現地研修として、大原新田、亀嵩地区環境保全管理協定の取り組み、石原里田集落の農泊の取り組みについて現地見学を行いました。



▲平野啓子さんによる語りの様子

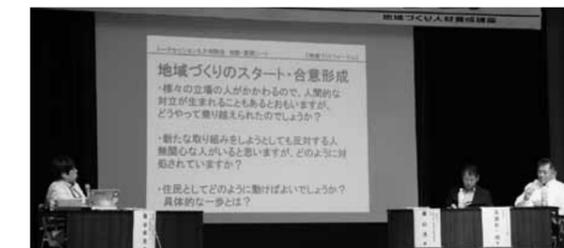
正しく安全に使えますか？
奥出雲町チェーンソー研修会を実施しました

6月23日、奥出雲町オロチの深山きこりプロジェクト主催でチェーンソー研修会が開催され、17名の参加がありました。山の手入れに欠かせないチェーンソーを正しく安全に使うための知識を養う事を目的に、女性林業士・吉川奈月氏を講師に招き、機械の手入れや丸太を切る作業を中心とした基礎コースと、より高度な伐木と搬出技術を養う伐木コース研修を行いました。参加者は「目立てなどの基礎を学び、また自分の悪い癖なども確認でき参考になった」と話されました。



▲吉川奈月さん(左)の指導を真剣に聞く参加者

地域づくりフォーラム
～みんなでつくる地域のチカラ～



▲地域づくりフォーラムの様子

7月20日、カルチャープラザ仁多で地域づくりフォーラムが開催されました。(社)持続可能な地域社会総合研究所藤山所長からは、今後の人口予測、小さな拠点づくりや地域経済循環について、NPO法人ほほえみの郷トイトイ高田事務局長からは、地域拠点型スーパーの開設、移動販売や地域食堂などの実際の取り組みについて講演がありました。奥出雲町内で地域づくりや小さな拠点づくりに取り組んでいる方が多く出席され、「今後の活動の参考にする」と話されました。

第52回宣揚祭 第44回船通山記念碑祭



▲山頂で剣舞を披露する様子

7月28日、船通山山頂において、登山の安全と地域の繁栄を祈願する目的で、宣揚祭及び記念碑祭が執り行われ、関係者をはじめ約300人が集まりました。日南町と奥出雲町の神職による神事後、今年度から仰支期里神社の石原道夫宮司から奥出雲神代神楽社中の恩田昭宏さんにスサノオ役が引き継がれ、力強い剣舞が披露されました。7月には、船通山友の会による登山道整備も行われており、船通山の豊かな自然を楽しみながら安全に登山をすることができました。